

住みよい安全な まちづくりをめざして 第29回防犯と交通安全の 住民集会

2月19日、町防犯協会と町交通安全協会の主催による「第29回南富良野町防犯と交通安全の住民集会」が総合福祉センターで開催されました。

この集会は、昭和52年から犯罪や事件、交通事故のない明るい地域をつくるため、自主的な住民運動の一端として毎年開催されているもので、町内小中学校の児童生徒から募集した作品の表彰と、2人の児童生徒による優秀作品（作文）の発表が行われました。

なお、町内小中学生からの応募作品は、防犯の部に標語145点、ポスター87点、作文14点が、また交通



表彰式

安全の部に標語66点、ポスター65点、作文9点で、合わせて386点の作品が寄せられました。

各部門の優秀賞に輝いた皆さんは次のとおりです。

防犯作品受賞者

標語
松原 蒼矢(金山小5年)
中森沙也香(南富中1年)
ポスター
大居 恵梨(幾寅小4年)
長谷川亜美(南富中3年)
作文
佐々木太二(下金山小6年)
交通安全作品受賞者
標語
山上 琴江(金山小5年)
ポスター
大道 健人(北落合小5年)
森 あずさ(南富中2年)
作文
松木 園佳(幾寅小5年)

平成17年度 文化講演会



ジャンボ秀克さん

住民集会に引き続き、テレビやラジオの中継レポーターやイベントの司会などで活躍中のジャンボ秀克さんを講師として招いて、文化講演会が行われました。

「おおいに喋しゃべって笑って元気の元」と題した講演では、おなじみの声で、レポーターやイベント司会などの体験談を元にした軽快なトークに、会場内には終始笑いがおきていました。

ジャンボさんの好きな言葉は、「一笑一元気だそつで、笑ったりお腹から声を出すことで血行が良くなり免疫力も高まります。笑うことで元気が出るんです。」と話していました。

第1回全国高校カーリング選手権 北海道予選会

南富良野高校優勝

第1回全国高等学校カーリング選手権北海道予選会が、1月7日から9日まで北見市で開催され、南富良野高校の男子カーリング部が、見事に優勝を飾り、3月18日から青森で行われる全国大会への出場が決まりました。

試合でスキップを務めた獅畑和樹選手(1年)は、「第1回の大会で優勝し、南富良野高校の名前を残せたことが嬉しい。」と喜びを表しました。



全国高校スキー大会 小柴 早紀さん (南富良野高校1年) 女子回転で9位入賞

全国高校スキー大会が、2月3日から7日まで秋田県鹿角かづの市で開催され、南富良野高校の小柴早紀さん(1年)が、回転で9位入賞を果たしました。

ていました。

カーリング部の部員は、ほかの部活動との掛け持ちのため、週4日間という限られた時間の中で練習を行っており、全国大会に向けて日々の練習にも熱が入っています。



全国大会に向けて練習にも熱が入る選手たち

小柴さんは、1月に行われた北北海道大会で2位となり、全国への出場権を獲得。昨年の全国中学校スキー大会では2位に入賞した実績もあり、南富良野高校へ進学後も、トレーニングに励み、2年続けての全国出場となりました。小柴さんは、「これからも上をめざして頑張ります。」と今後の飛躍を誓っていました。